

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
440004	XYY2440004			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
流通と物流	岸野 清孝	2	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	必修	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	2年

授業目的

社会は、大きく生産、流通、消費の3つの領域に分けられる。流通の働きにより財が生産から消費へと移転し、財の所有権の移転を「商流」、財の場所的時間的移転を「物流」という。企業においては流通・物流コストは割高が実態であり、効果的に管理するためのノウハウ・技法などを学ぶ。

各回毎の授業内容

第1回

【授】流通と物流の全体概要説明
【前・後】事前に資料を印刷し、予習すること

第2回

【授】流通とは何か：流通機構とその社会的役割、流通とは、商流と物流、流通機構とは
【前・後】教科書の内容を予習すること

第3回

【授】流通構造と流通チャネルの基本概念：流通構造と流通経路、閉鎖的チャネルと開放的チャネル
【前・後】教科書の内容を予習すること

第4回

【授】日本の流通構造および流通政策の概要：自由な流通活動、構成取引、統制・規制、消費者保護
【前・後】教科書の内容を予習すること

第5回

【授】流通チャネルにおける取引慣行と情報ネットワーク化
【前・後】教科書の内容を予習すること

第6回

【授】流通業の機能分類と流通戦略の事例：販売方法、組織管理、物流方法、商品ブランド、取引方法
【前・後】教科書の内容を予習すること

第7回

【授】流通構造の変遷：小規模流通、チェーンストア、量販店の拡大、専門店チェーン、流通構造変化
【前・後】教科書の内容を予習すること

第8回

【授】物流とは何か：物流7機能、物流センターの必要性
【前・後】教科書の内容を予習すること

第9回

【授】輸送機関の分類と動向：輸送機関の分類、メリット、トラック運送の運賃
【前・後】教科書の内容を予習すること。事後に(レポート課題1)を作成

第10回

【授】物流における在庫管理：物流ネットワークと在庫、在庫の種類、在庫管理方式
【前・後】教科書の内容を予習すること。(レポート課題1)を提出。

第11回

【授】物流情報システム：倉庫管理システム、配車配送システムの考え方、特徴、効果
【前・後】教科書の内容を予習すること。事後に(レポート課題2)を作成。

第12回

【授】物流戦略と共同化：共同物流の背景、共同物流の有効性・影響、サードパーティロジスティクス
【前・後】教科書の内容を予習すること。(レポート課題2)を提出。

第13回

【授】物流戦略と企業同盟：製造・卸・小売の物流同盟、SCM
【前・後】教科書の内容を予習すること。

第14回

【授】国際貿易・輸出入業務と物流：貿易とは、通関制度、輸出入業務と信用状の考え方
【前・後】教科書の内容を予習すること

第15回

【授】事例研究：グローバル サードパーティ ロジスティクス
【前・後】添付資料の内容を予習すること

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

定期試験：80%と自己学習によるレポート課題：20%の配分で評価する。

教科書参考書

教科書：岸野清孝著「流通と物流」静岡学術出版(2007年)を使用する。

1回目の資料は配布する(本校の講義概要からダウンロードし、各自がプリントアウトする)。

受講に当たっての留意事項

- 出席管理システムにより出席を入力すること。
- 1/3以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなる。
- レポート提出は期限厳守。期限後の提出も認めるが減点する。
- 1回目の資料は事前にポータルからダウンロードして、コピーを持参すること。1ページに6コマで印字すること

学習到達目標

- 流通と物流の仕組み(流通機構、流通チャネル、流通構造、取引慣行、輸送、在庫管理など)を理解し、基本的な知識を習得する。(定期試験：25%)
- 流通と物流の内容と役割およびその中の情報活用の方法を理解し説明できるようになる。(定期試験：25%)
- 流通と物流の効率化の動向(共同化、サプライチェーンマネジメントなど)を学び、それらが問題解決にどのように役立つかを理解し説明できるようになる。(定期試験：35%)
- 自己学習による調査により流通と物流について、さらに理解を深める(レポート：20%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：I

【授】授業内容【前・後】事前・事後学習